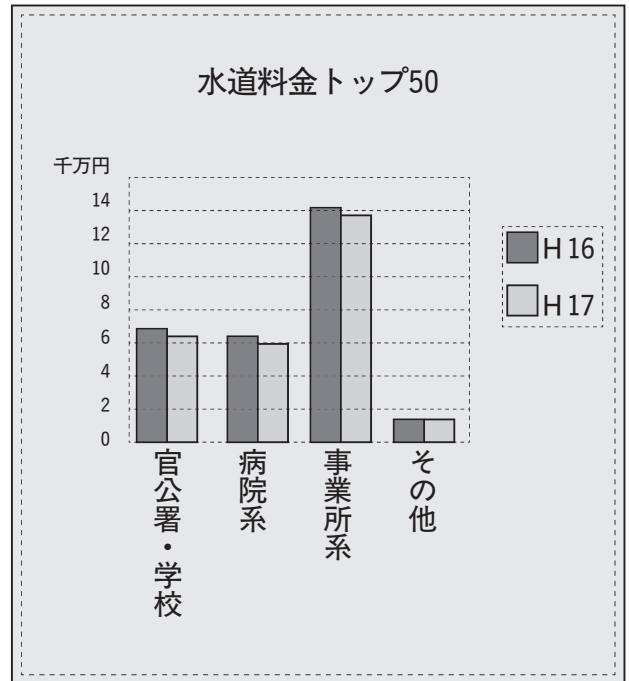


○ 水道の使用状況 <消費税抜き>

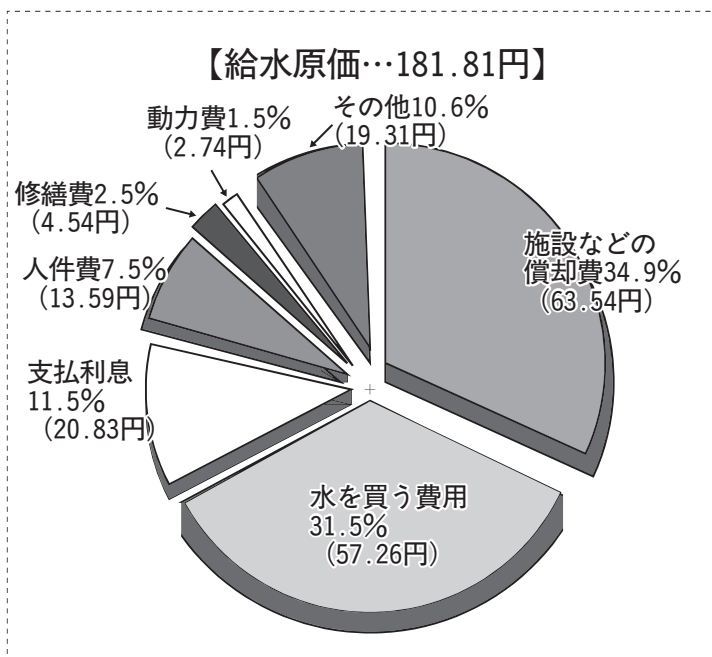
平成17年度末では、給水戸数22,088戸、給水人口61,871人で、それぞれ前年度より623戸、1,131人増加し、年間配水量は7,148,184m³*有収水量は6,716,615m³となっており、ともに前年度を上回っております。

また、水道料金は1,137,595,005円で前年度に比べ2,254,022円減収となりました。そのうち、水道料金トップ50では、使用水量の落ち込みが見られ、およそ570万円の減少となりました。

(※有収水量は、年間配水量のうち料金収益となる水量です。)



○ 給水原価と供給単価



給水原価：1 m³の水を製造するのにかかる費用
 供給単価：1 m³の水の料金収入額

給水原価 181.81 円が供給単価 169.37 円を上回り、12.44 円の逆ざやになっています。給水原価が高い要因といたしましては、将来の水需要に対応するための南配水場の建設や老朽管の布設替えにより、「施設などの償却費」の占める割合が増加しているためと思われます。

この逆ざやの補てんとして、*加入者

分担金を充てておりますが、区画整理地内やきよみ野地区などの新築建物も今後減少が見込まれますので、分担金にも限りがあります。

今後、施設の老朽化に伴う改良工事や石綿管布設替工事など見込まれる状況であります。さらに健全で効率的な経営を進め「安全な水の安定供給」に努めてまいります。

(※加入者分担金は、量水器の口径ごとに定めた金額を、新規加入時にお支払いただくお金です。)